

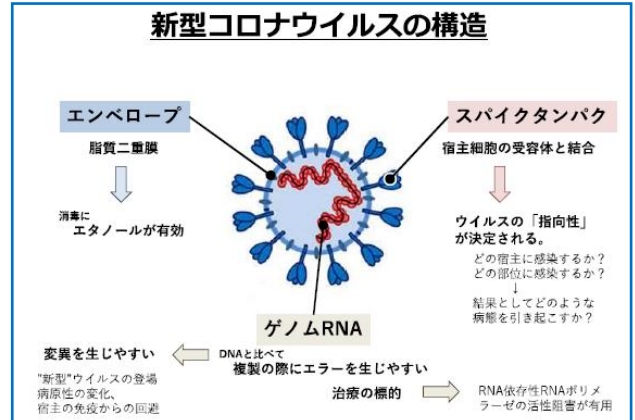
現在新潟県は新規の新型コロナウイルス感染者数は抑えられていますが、東京都では感染者数が増加に転じ、またδ株（インド株）の感染割合も増えてきており、1か月後くらいに再び当地にも感染拡大が起こることが懸念されます。



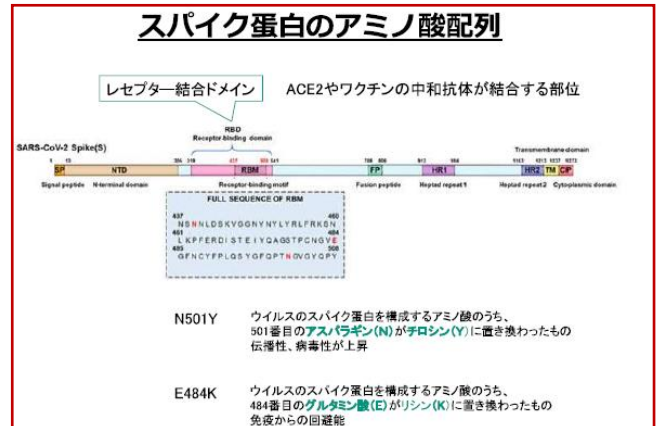
感染収束の切り札は、やはりワクチン接種です。菅総理大臣の高齢者接種を7月末までに完了すると絶対に無理と思われた発言に対し各自治体が答え、新潟市も高齢者大規模集団接種などを行いある程度の目途はつきそうです。皆様方もぜひ接種をお受けください。なお当院は例年インフルエンザのワクチン接種は2500人くらいであるのに対し、高齢者の新型コロナワクチンの接種は3000人・6000回分までの枠を作っています。ウィークデイの午前・午後、土曜・日曜とで接種場所を変えて接種を行っています。しかし今後64歳以下の接種が開始された場合、当院で同じペースで接種を行えば職員の負担が過重になることが懸念されます。当院かかりつけの方でも職域接種や集団接種をお受けできる方は、そちらでの接種も検討してください。

さて、上記グラフは、イギリスにおける新規患者数とワクチン接種状況を示したものです。現在しかし、イギリスでは変異株

であるδ株による感染のため、まだワクチン接種を行っていない方を中心に感染が再拡大しています。



ウイルスというものは、増殖スピードが速く・短時間で多数の複製を作ります。またウイルスはすべてが遺伝的に均一ではなく突然変異などにより多様性を持ちます。そして置かれた環境の中で最も増殖が速いものが選択されて大多数を占めるようになるのです。今回中国で発生した新型コロナウイルス（COVID-19）は世界中に広まり、α株（イギリス株）、δ株などが生まれました。従来型のウイルスは消滅し、今後すべてδ株、またはさらに増殖力の強い新しい株に置き換わることでしょう。場合によっては今のワクチンが効かないウイルスが出てくる可能性もあります。ワクチン接種後もマスク・“3密を避ける”は必要と思われます。



発行責任者；豊栄病院病院長 宮島 透